


## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 地方道・環境課  
担当課長名：吉崎 収

事業名：一般道道 上厚真苦小牧線 <small>かみあつまとまこまいせん</small>	事業区分：地方道	事業主体：北海道	延長：7.0km								
起終点：自：北海道苦小牧市字勇払 至：北海道苦小牧市字静川 <small>ほつかいどうとまこまいし ゆうぶつ しずかわ</small>											
<b>事業概要</b> 当該路線は苦小牧東部地域の基本計画において、開発地域内の幹線道路に位置付けられ都市計画決定を受けている。当該路線の整備により、港湾施設の集中する西港と東港の連携強化を図り、開発地域における産業、研究開発などの効率的な展開を支援し、苦小牧港周辺地域の発展及び北海道経済の活性化に寄与する。											
H11年度事業化	S57年度都市計画決定	H11年度用地着手	H13年度工事着手								
全体事業費	83億円	事業進捗率	59% 供用済延長 2.1km								
計画交通量	9,800台/日										
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.6 (残事業) 3.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 35/95億円 (事業費：31/90億円) (維持管理費：3.3/4.8億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 120/249億円 (走行時間短縮便益：110/232億円) (走行経費減少便益：9.3/15億円) (交通事故減少便益：0.68/2.0億円)								
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.8(交通量+10%) B/C=3.1(交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.8(事業費-10%) B/C=3.2(事業費+10%) 事業期間変動：B/C=3.6(事業期間-20%) B/C=3.4(事業期間+20%)											
<b>事業の効果等</b> ・物流効率化の支援（特定重要港湾苦小牧港へのアクセス向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（JR日高線や勇払川や安平川により一体的発展が阻害されている地域の解消） 他8項目に該当											
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 苦小牧市や苦小牧地方総合開発期成会から整備促進の要望がある。 苦小牧商工会議所や運送業界などから苦小牧西港と東港の連携を強化する当該路線の早期整備の要望がある。											
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 苦小牧東部地域内の骨格をなす幹線道路としての位置付けに加えて、平成20年8月に苦小牧東港に国際コンテナターミナルが移転したことにより、苦小牧西港と東港の連携を強化する当該路線の整備の必要性はより高まっている。											
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成20年度までに、用地補償96%、橋梁工55%、改良・舗装工事59%進捗している。残事業は、橋梁工及び舗装工事約4.9kmである。											
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 事業着手後、遅れていた安平1号橋の河川協議が今年度完了予定であり、今後事業が遅延する要因がないことから、平成24年度の完成が見込まれる。											
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 再生材（Co、As）の利用及び他工事発生土の利用、長大橋の路肩幅員の縮小などにより約5.3億円のコスト縮減を図っている。											
<b>対応方針</b> 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初より事業の必要性、重要性は更に増していると考えられる。											
<b>事業概要図</b>											
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">凡 例</th> </tr> <tr> <td>供用中</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>再評価対象事業</td> <td style="text-align: center;">▨</td> </tr> <tr> <td>うち供用中</td> <td style="text-align: center;">▩</td> </tr> </table>		凡 例		供用中	□	再評価対象事業	▨	うち供用中	▩
凡 例											
供用中	□										
再評価対象事業	▨										
うち供用中	▩										

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。